

トレンドの種

2026年1月

1. エネルギー業界

- ・再稼働を前に明るみに出た不正。「原子力事業の根幹を揺るがす事案」「背信行為」など厳しいトーンで断じる
- ・CESのトレンドに変化、消費者向け製品からAI・エネルギー関連の「産業分野」に

中部電力浜岡原発データ不正。各方面からの批判は避けられないでしょう。

従来のCESは消費者向け製品が中心であったが、近年ではAIやエネルギー関連の「産業分野」にトレンドが切り替わっているとのこと。

1. 先月から継続しているトピック

- ・メガソーラー
- ・洋上風力発電
- ・原発再稼働
- ・e-メタン

2. 今月の注目ワード

- ・バイオマス発電
- ・中部電力浜岡原発データ不正
- ・スペイン・ソーラーパーク急増
- ・長崎・洋上風力発電

5. 不動産・物品賃貸業／エリア開発・建設

- ・利上げで住宅ローンに注目
- ・都市部・大規模開発の行方
- ・「アフォーダブル住宅」への期待度は？
- ・2026年のマンション市場は中古が主役？
- ・2026年「卒・タワマン所有主義」

住宅価格の高騰とローン金利の上昇で、資産防衛といった視点での報道が続いている。外国人による土地取得の厳格化への関心や、大規模開発における人手不足・資材高騰の影響への懸念も台頭。

住宅では、こだわりの家づくりや、おしゃれな街への期待、進化するシニアレジデンスといった個性に対する注目も見られた。

1. 先月から継続しているトピック

- ・マンション価格高騰つづく
- ・卒・タワマン所有主義
- ・住宅ローンへの関心

2. 今月の注目ワード

- ・大規模都市開発の厳しい展望
- ・「データセンターREIT」の弱点
- ・「結露診断士」
- ・マンション管理費高騰のリアル
- ・マンション購入者が「インフレ時代の勝者」になれるワケ
- ・災害に強い「マンション」
- 他

6. 行楽・レジャー・宿泊

- ・パンダ「ゼロ」の衝撃と影響
- ・2026年の最新トレンド展望
- ・インバウンド問題への懸念続く

インバウンド話題がポジ・ネガ両論で報道継続。

国内外人気スポット・ランキングや2026年のトレンド展望特集も多数。

関西エリア、サンリオ初のリゾート構想といった期待感も。

また、旅行・レジャー分野でのAI活用も導入事例など散見された。

季節話題ではウインタースポーツや温泉なども多数みられたが、明るい話題と厳しい展望が混在。

1. 先月から継続しているトピック

- ・インバウンド客のマナー
- ・韓国で続く「日本旅行ラッシュ」
- ・クルーズ旅行人気

2. 今月の注目ワード

- ・全国のスキー場料金・高騰中！
- ・2026年は“英語キャンセル界限”
- ・「ペットツーリズム」注目
- ・「宿泊税」が各地で導入ラッシュ！
- ・社員旅行「復活」の兆し!?
- ・関西エリア、注目の新スポットが続々登場
- ・機内持ち込みできない「意外なコンビニ・スイーツ」
- ・「今年こそクルーズ旅行！」

他

7. 飲食サービス／グルメ

- ・減量薬対策迫られる米国食品メーカー
- ・2026年もユニークな食トレンドが広がりそう

食欲を抑える薬への対応として、海外加工食品メーカーやファストフード店では高タンパクや小分け商品へのシフトが迫られていると報じられている。

2026年も「高加水ピッツァ」「フュージョン薬膳」「うま確フード」などインパクトある食関連ワードが登場。

1. 先月から継続しているトピック

- | | |
|--------|------------|
| ・米価格 | ・万博(大阪)グルメ |
| ・抹茶ブーム | |

2. 今月の注目ワード

- | | |
|---------------|----------|
| ・AIドライブスルー | ・うま確フード |
| ・米「減量薬」 | ・禁酒の一月 |
| ・濃縮飲料 | ・「水」商品 |
| ・ラーメン二重価格トラブル | ・狭小店舗 |
| ・飲食店ファストパス | ・ポップオーバー |
| ・高加水ピッツァ | ・いちご新品种 |
| ・フュージョン薬膳 | |

8. 教育・学習支援

- ・子供のSNSリスク、インターネットリスクに関する記事が目立つ
- ・「アドガキ」「ドパガキ」など新たな概念も誕生

いじめ動画のSNS拡散やオーストラリアでのSNS規制、闇バイト防止を目的とした警察によるサイバーテスト実施といったネット関連の話題が目立ちます。

「不登校」を「ユニパス」と言い換え悪い印象を払拭・・・という取り組み事例も報じられました。

1. 先月から継続しているトピック

- ・盗撮教員グループ
- ・不登校
- ・アプリ「Duolingo」
- ・オーストラリア、16歳未満SNS禁止

2. 今月の注目ワード

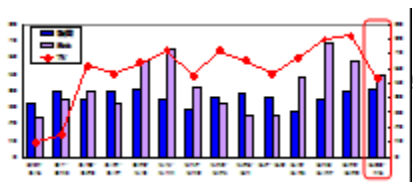
- ・アドガキ、ドパガキ
- ・DXハイスクール
- ・ペーパーティーチャー（臨時的任用教職員）
- ・高校「いじめ」動画拡散
- ・埼玉県警・子供向け「サイバーテスト」
- ・「ユニパス」

データムは

新聞・TV・雑誌・Webの報道を集め、
整理、分析いたします。

■新聞・Web・TV報道の検索と収集

ひと目で分かる報道件数の推移



キーワード毎の件数比較

キーワード	2021年	2022年	合計
脱炭素	6,130	9,062	42,647
SDGs	6,184	8,734	40,097
再生エネルギー	4,010	4,637	23,897

過去10年のWebニュースも検索可能！

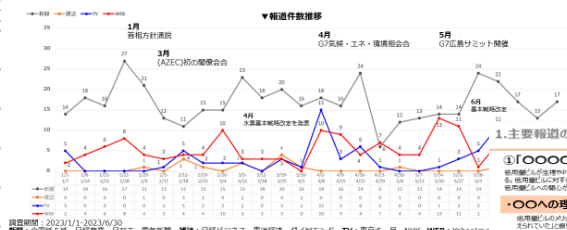
■報道と情報を整理し、分析します

報道の量的・質的分析
レポート形式でご提出

報道件数推移

新聞報道では新ビジネスに取り組む企業事例が連続して取り上げられており、1月と6月で報道量の大きな差はみられない。政府の動向に関心が集まっており、首相選考やG7サミット、基本戦略改定などのタイミングで報道が増加している。エネルギー政策に言及する報道が目立つ。

TV報道では「水素基本戦略改定」話題が複数回に取り上げられており、報道量を押上げていく。



1. 主要報道の整理・考察

①「○○○○○」話題まとめ

最も「○○○○○」が話題になったのは、脱炭素に関する報道が最も多かった。脱炭素に関する報道は、脱炭素に関する報道が最も多かった。脱炭素に関する報道は、脱炭素に関する報道が最も多かった。

・○○○の理解が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

脱炭素に関する報道は、脱炭素に関する報道が最も多かった。脱炭素に関する報道は、脱炭素に関する報道が最も多かった。脱炭素に関する報道は、脱炭素に関する報道が最も多かった。

②「アスリート○○○○○○○○○」対策としての○○○話題まとめ

アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。

1. ○○がアスリートに不利になるのでは、という懸念があったと指摘

アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。

2. アスリートらが積極的に情報発信、男性側の理解も広がっている

アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。

3. 反対の声もあるが、選択肢の一つとして認識されている

アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。アスリートに関する報道は、アスリートに関する報道が最も多かった。

その他、

- ・競合分析
- ・キーワード分析
- ・リリース分析等